

UP2 とは?

- ▶ 必要最低限のユーザインタフェースでプレゼンテーションを行うための iPad アプリです
- ▶ 指定箇所をポインターで指し示すことができます
- ▶ 3色のペンと消しゴムを利用して、補足が記入できます
- ▶ スライドを拡大表示することも可能です
- ▶ 複数の（横向き¹）PDF ファイルを読み込み、それらの表示を簡単に切り替えることができます

¹推奨

プレゼンテーションの操作方法 (1/2)

- ▶ ページ遷移（デフォルトの設定時）
 - 次のページを表示するには，指で左にスワイプします
 - 前のページを表示するには，指で右にスワイプします
- ▶ スライド遷移（デフォルトの設定時）
 - 次のスライドを表示するには，指で上にスワイプします
（ホワイトボード表示時は，最初のスライドを表示）
 - 前のスライドを表示するには，指で下にスワイプします
（最初のスライド表示時は，ホワイトボードを表示）
- ▶ プレゼンテーションの終了（デフォルトの設定時）
 - プレゼンテーションを終了させるには，
右上の “[X]” ボタンをタップします

プレゼンテーションの操作方法 (2/2)

- ▶ ポインター・ペン・消しゴム（デフォルトの設定時）
 - 左上のボタンをタップするとモードが変更できます（左から順に「ポインター・ペン1・ペン2・ペン3・消しゴム」です）
 - Apple Pencil で画面をなぞると、モードに応じて「ポインターで指し示す・ペンで補足を記入する・消しゴムで補足を修正する」ことができます
 - 指で画面を長押ししてから離すと（そのページの）補足をすべて消去することができます
- ▶ ズームイン・アウト
 - スライドをズームイン・アウトするには、2本指でピンチイン・アウトします
- ▶ ハイパーリンク
 - ハイパーリンクは、指でタップすれば機能します

ファイル管理 (1/6)

- ▶ 他のアプリを利用して PDF ファイルを追加する²
 1. 他のアプリで PDF ファイルを表示します
 2. エクスポート先として UP2 を選択します

- ▶ iPad を PC に接続して PDF ファイルを追加する³
 1. iPad を PC に接続します
 2. iPad 上の「UP2 フォルダー」に PDF ファイルを追加します⁴
 3. 初期画面（図1）で “Update” ボタンをタップします

²推奨

³PDF ファイルの削除は、なるべく後述の方法で行ってください

⁴詳細は次のウェブサイトを参考にしてください：

ファイル管理 (2/6)

Edit Rename Update Information Setting Start

PRESENTATION MATERIALS

- slide0515
- supplement0515_1
- supplement0515_2

STORAGE

- slide0508
- supplement0508
- slide0501
- supplement0501

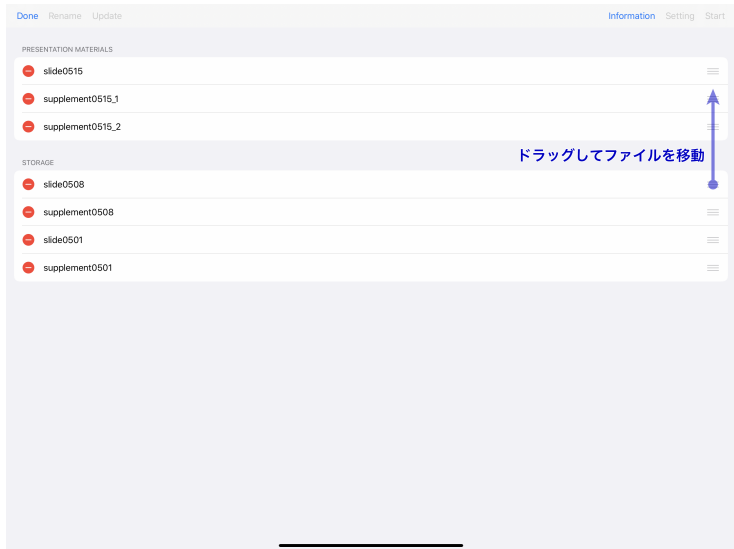
ファイル管理 (3/6)

- ▶ プレゼンテーションに用いる PDF ファイルを選択する
 1. 初期画面で（図1）で “Edit” ボタンをタップします
 2. プレゼンテーションに用いる PDF ファイルを
“PRESENTATION MATERIALS” リストに移動します
 3. それ以外の PDF ファイルは “STORAGE” リストに
移動するか削除（後述）します
 4. 最後に “Done” ボタンをタップします

- ▶ プレゼンテーションを開始する
 1. 初期画面（図1）で “Start” ボタンをタップします⁵

⁵PDF ファイルは “PRESENTATION MATERIALS” リストの表示順に従って読み込まれます

ファイル管理 (4/6)



ファイル管理 (5/6)

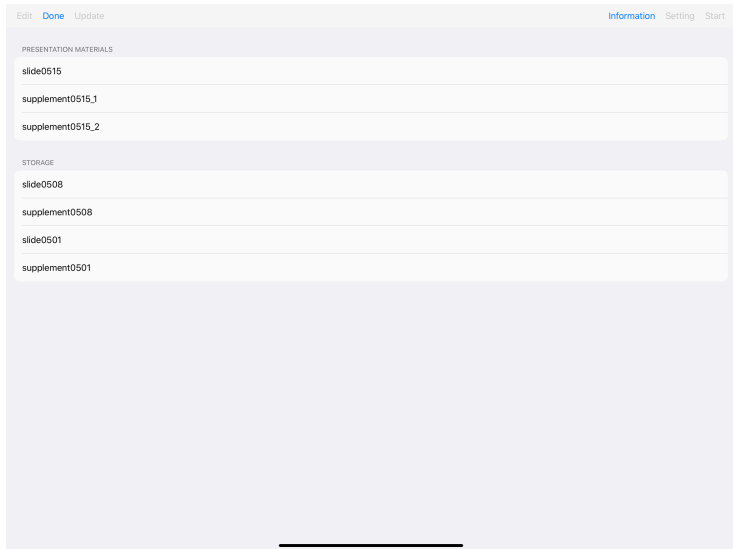
▶ PDF ファイルを削除する

1. 初期画面で (図1) で “Edit” ボタンをタップします
2. 削除したい PDF ファイルの横の “-” ボタン (図2) をタップし、続いて表示される “Delete” ボタンをタップします
3. 最後に “Done” ボタンをタップします

▶ PDF ファイルの名前を変更する

1. 初期画面で (図1) で “Rename” ボタンをタップします
2. ファイル名を変更したい PDF ファイルをタップします
3. 開いたダイアログボックスを用いてファイル名を変更します
4. 最後に “Done” ボタンをタップします

ファイル管理 (6/6)



環境設定 (1/3)

- ▶ プレゼンテーションの環境を設定する
 1. 初期画面で（図1）で “Setting” ボタンをタップします
 2. 表示された設定画面（図4, 5）で環境を設定します
 3. 最後に “Done” ボタンをタップします

環境設定 (2/3)

Done

ポインタのサイズと色

Pointer  Size R G B A

ペン1の幅と色

Pen1  Width R G B A

ペン2の幅と色

Pen2  Width R G B A

ペン3の幅と色

Pen3  Width R G B A

消しゴムのサイズ

Eraser  Size Enable eraser 消しゴムを利用するか否か

背景色

Background  R G B

Leave the trajectory of pointer while stroking ペンを離すまでポインタの軌跡を残すか否か



Add comment for each page 補足をページ毎に分けるか否か


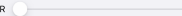
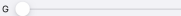
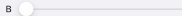
Disable automatic screen lock プレゼンテーション中にディスプレイのオートロックを無効にするか否か

Show palette モードの選択およびプレゼンテーションの終了をボタンで行うか、それともジェスチャー（タップ・スワイプ）で行うか

環境設定 (3/3)

Done

Eraser  Size  Enable eraser

Background  R  G  B 

Leave the trajectory of pointer while stroking

Add comment for each page

Disable automatic screen lock

Show palette

Show current mode モードの選択をジェスチャーで行うときに、現在のモードを表示するか否か

Enable zoom in スライドの拡大を有効にするか否か

Use Apple Pencil Apple Pencil を利用するか否か

使い方

stroke with Apple Pencil: point (in pointer mode) / draw (in pen mode) / erase (in eraser mode)

tap buttons in the upper left corner: change modes (pointer / pen1 / pen2 / pen3 / eraser)

press long with one finger and then release: clear drawing

swipe left with one finger: show next page

swipe right with one finger: show previous page

swipe up with one finger: show next document, or show the first document if current is whiteboard

swipe down with one finger: show previous document, or show whiteboard if current document is the first one

pinch in/out: zoom in/out

tap [X] button in the upper right corner: finish presentation

補足情報

- ▶ PDF ファイルの表示には（それなりの量の）メモリーが消費されるので，本アプリを閉じる前には，プレゼンテーションを必ず終了することを推奨します
- ▶ 本アプリは無料ですべての機能が使用できます．それは本アプリが主に学術的な場面で利用されるだろうと想定されるからです．一方で作者は，本アプリを App Store で配布し続けるために，年間約 \$100 を Apple に支払っています．もし本アプリを気に入っていただけのなら，作者への寄付⁶を検討頂けると大変助かります

⁶初期画面（図1）で “Information” ボタンをタップし，表示されるダイアログボックス内の “Consider donation (via in-app purchase)” をタップして下さい．\$1 または \$2, \$5, \$10 の寄付が可能です